

O.Gアドバイザーからのメッセージ



高専でのチャレンジ

強口 藍子 機械工学科/小名浜第一中学校 平成29年度卒業

私は機械工学科(現:機械システム工学科)を卒業し、現在は工作機械メーカーでエンジニアとして働いています。高専では授業だけでなく、課外活動や部活動などで様々な経験をすることができます。私は単純に、周りを楽しませるロボットを作りたいと思い、高専に入学しました。在学中は実際にロボット技術研究会に所属し、授業で学んだことを生かしてモノづくりをすることで更に理解を深めたり、新しい技術を学びました。自分のアイデアを形にしたり、こんなこと出来たら楽しいと思うことに挑戦することでモノづくりの楽しさを知ることができたと思います。



授業では、低学年の時から実験や実習が多く実際にやってみることで理解を深めることができます。実験や実習はグループで取り組むので分からないことがあってもみんなで考え、解決することができます。機械システム工学科では電気や情報の授業も選択できるので、高専を卒業する頃にはロボットを製作出来るようになることも夢ではありません。

やりたいことを実現できる環境と専門知識を持つ先生方がいることも高専の魅力の一つです。例えば先生方や機械に詳しい実習の先生にサポートしてもらうことで国家資格を取得することもできます。機械科は男子のイメージが強いと思いますが、女子でも簡単に作業が出来るコツなども教えてもらえるので心配はありません。私は先生方にサポートしてもらうことで機械加工技能士の資格を取得しました。技能士の資格を取得したことで自分でもここまでやれると自信を持つことができました。

高専は5年間クラス替えがない分、クラスの団結力も深まります。学内には15歳から20歳までの学生がいて、先輩方から高専生活のアドバイスをもらうこともできるので心強いです。

皆さんも福島高専で様々な経験をすることで自分の可能性を広げてみませんか？

男女共同参画・キャリア教育支援室の女子学生支援

1. 女子学生に対するキャリア・進路支援

2. 女子学生に対する勉学生活支援

3. 女子中学生の入学支援

キャリア・コンサルティング実施日/
毎週水曜日午後1:00~5:00

奥寺 絵里 / 2級キャリアコンサルティング技能士
(株)飛馬オープンカレッジいわき校
(コミュニケーション情報学科3期生/玉川中学校)



奥寺絵里さん(左)

発行日/令和2年3月26日

福島工業高等専門学校 / 男女共同参画・キャリア教育支援室発行

〒970-8034 福島県いわき市平上荒川字長尾30

URL <http://www.fukushima-nct.ac.jp>

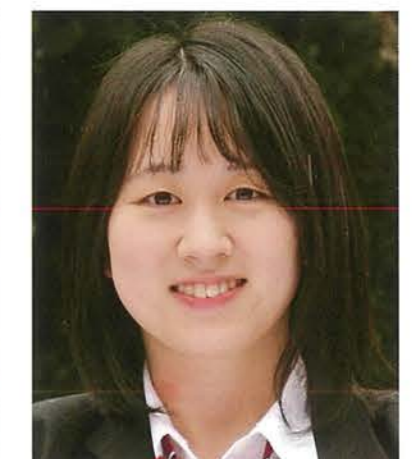


女子中学生のみなさんへ

NEW START

No.12

未来へ向かって輝く福島高専女子!!



福島工業高等専門学校 / 男女共同参画・キャリア教育支援室

未来へ向かって輝く福島高専女子!!

“好き”を生かして伸ばす

引地 良偉夢

ビジネスコミュニケーション学科3年(玉川中学校)

私は2年生の時に高専英語プレゼンテーションコンテストに参加しました。好きな英語を生かした活動をしたと思ったのがきっかけでした。発表は緊張しましたが、日々の練習と好きが高じて3位入賞を果たすことができました。“好き”を大切にしてい良かったと思います。また、留学生交流会や英語の授業でも好きな英語を生かし、充実した高専生活を送っています。これからも“好き”を大切に幅広く活動していきたいです。他にも高専には、それぞれの“好き”を伸ばせる場がたくさん用意されています。ぜひ、皆さんも福島高専で“好き”をとことん追求してください!



▲留学生との交流の様子



▲高専英語プレコン賞状

学会を通じて得たこと

佐藤 麻那

化学・バイオ工学科3年(内郷第一中学校)

私は授業の一環であるミニ研究で、日本水産学会春季大会に参加してきました。始まった当初は、研究がどのようなものなのかをあまり理解しないまま活動していましたが、テーマに対しての探求心や、グループワークの大切さなどを、身をもって体験するいい機会になりました。また、学会という場で実際に研究内容を発表できたことは、自分自身の経験と大きな自信になりました。5年では、本格的に卒業研究が始まるのでここで得たこと繋げていきたいです。



▲ポスター発表



▲参加したメンバーと一緒に

やりたいことを見つける

諏江 あきは

産業技術システム工学専攻
社会環境システム工学コース1年
(平第一中学校)

私は福島高専の地盤研究室に所属しています。入学前は自分が何をやりたいのかわからず、賞を貰えるほどの研究をするなど想像もしていませんでした。しかし、高専で色々な分野に触れることでやりたいことが明確になり、熱心に研究に取り組むようになりました。その結果、全国地盤工学会で優秀発表者賞を受賞することが出来たとともに、将来やりたいことも見つかりました。皆さんも、本当にやりたいと思えることを福島高専で探してみてください!



▲校長先生への報告



▲賞状

仲間と一緒に

大和田 夏美

都市システム工学科3年
(大野中学校)

目標達成のためには何が必要でしょう。私は努力の他に「仲間」が必要不可欠だと思います。何を行うにしても、1人で努力し続けるには限界があります。その点、高専にはたくさんの先生方、先輩、友達がいるので、共に目標に向かって頑張れる仲間を見つけることができるはず。私はその「仲間」という力強い味方がいたおかげで、インターハイ出場という目標を達成することができました。

皆さんも、ぜひ高専で同じ目標を持つ仲間を見つけてみてください!



猪狩 澄玲

都市システム工学科3年
(湯本第二中学校)



▲大切な仲間たちと一緒に



▲授賞式の後で

国境を超えた一生の友達

猪股 未来

ビジネスコミュニケーション学専攻
ビジネスコミュニケーション学コース1年(好間中学校)

ISTS2019がタイで開催され、SDGs関連のセミナーに参加しました。そこでの出来事は私にとって大切な経験になったと確信しています。SDGsについても学びましたが、得たもので一番大きかったのは、人との出会いです。ここで1週間にした仲間は一生の中で上位に入る大切な友達になりました。色々な人と交流することができるのが高専の魅力だと思います。人との出会いは良くも悪くも自分を変えてくれます。これからも人との出会いを大切にしながら学生のうちにしか出来ないことをしていきたいです。



▲参加者との集合写真



▲セミナーの様子

福島の問題を国際的に考える

鈴木 梨恵

建設環境工学科5年(泉崎中学校)

私は、除去土壌の再生利用等の理解醸成プロジェクト一環でニューヨークのブルックリン大学とクイーンズ大学を訪問しました。ここで、県内の除去土壌の現状と再利用方法について英語でプレゼンテーションし、その後大学生と意見交換を行ってきました。アメリカの学生も福島が抱えている問題に対して真剣に取り組んでくれて、とてもいい経験になりました。私の将来の夢は原子力関係の企業に就職し、廃炉事業に貢献することです。そこで今回の留学の経験を活かし、積極的に発言していきたいです。



▲アメリカの学生と意見交換



▲プレゼンテーションの様子

磐陽寮で過ごして

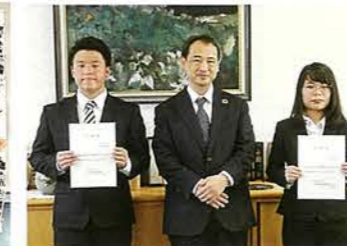
鈴木 綾華

物質工学科4年(大槻中学校)

入学からも入寮からも早4年。親元を離れて新生活を送るには勇気が要りましたが、すぐに同級生や先輩との共同生活に馴染み、今では日々を楽しんでいます。寮は、規律を守る意識や助け合いの精神を育み、人として成長することができる環境だと感じています。得られたものは一生ものです。皆さんも磐陽寮に入寮する機会があればぜひ、寮でしか経験できないことをたくさんして、充実した思い出深い寮生活を楽しんでください。



▲磐陽寮紹介ポスター



▲寮生会長任命式

高専でチャレンジ

澤田 美紗妃

電気電子システム工学科2年(植田中学校)

高専ロボコンって聞いたことありますか?全国の高専生がロボットを作り、競う大会です。私は昨年ロボットの操縦者として東北地区大会に参加し、技術賞を頂きました。そんな私も入学前はパソコンすら上手く扱えませんでした。新しいことを始めるのは簡単なことではありません。それでもやりたい!負けたくない!という熱意さえあれば私のように得るものがあるはず。あなたも情熱のある先輩達と一緒に高専で新しいことにチャレンジしてみてください!



▲東北地区大会で操縦している様子



▲技術賞の盾